

断章のグリム 〈9〉



[断章のグリム 〈9〉 下载链接1](#)

著者:甲田学人 (著)

出版者:アスキーメディアワークス

出版时间:2008-12-5

装帧:

isbn:9784048674201

『一お姉ちゃん』悲嘆と暗闇の中で泣いていた金森梢枝の背後から、突然少女の声が囁かれる。背後の闇から聞こえてきた、小さく、くぐもった、しかし異様にはっきりと聞こえた声。忘れもしない、忘れるわけもない、しかし記憶の中以外ではあってはならない、死んだ妹の、“声”。金森琴里の自殺を発端に、徐々に悪夢が浸触していく海辺の街。だが蒼衣は、ユリと物語の行方が分からぬまま、雪乃を置いて、地元の普通の日常に戻らなくてははいけない。琴里の恋人だった臣と幼馴染みの一真を護るために必死な雪乃。そして悪夢は、雪乃を心配する蒼衣の予想を大きく裏切り、拡散していく一。鬼才が贈る悪夢の幻想新奇譚、第九幕。

作者介绍:

甲田 学人

1977年、岡山生まれ。津山市出身。二松学舎大学卒(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[断章のグリム 〈9〉 下载链接1](#)

标签

甲田学人

轻小说

輕小說

断章格林童话

電撃文庫

断章のグリム

评论

看得很纠结的第9卷，《石竹花》下篇。本卷的悬疑经历了两次转折，第一次出现了双重噩梦。此外，整部作品在本卷也有一个小小的变化，不再像前几本以纯粹的暴力毁灭来解决问题，出现了些微的救赎。雪风第一次有了想要帮助他人（臣）的想法，她口中的“骑士”中的“骑士”群草为了拯救他人也将自己陷入了无尽的噩梦中。往后的情节越来越期待了～

读到第九卷觉得有点疲劳，基本套路已经很熟悉了（童话，象征符号的解读，案情匹配和一一对应），很像文学少女或者丹布朗的小说，只不过这次出了「双重泡祸」，打破了原来的单一灾祸的故事形式……不过这次终于没让事件的中心人物全都死掉……可喜可贺可喜可贺……（

難怪驚聲尖叫的東西寫那麼多呢，這次跟以前最大的區別就是惡夢之間相互吸引而引發雙重惡夢，以無實體的靈異事件和有實體的怪物為界限，分別對應兩個惡夢和なでしこ童話的兩個版本，前面也給了不少暗示，最後一章足夠精彩，關於一真斷章的真面目以及還有另一人抱有惡夢的地方兩次反轉。一群人死旗插得滿滿眼看著千惠妹妹都要搭進去結果最後只以群草老爹的犧牲解決了問題，甲田學人這麼大發慈悲我簡直不敢相信。わしは時間が欲しかった。だからわしが、時間をやる。“騎士中的騎士”，群草老爹當之無愧。

老头子会后悔的

让我彻底成为这个系列俘虏的，就是这一卷，虐心度和最终卷相比应该有过之不及

[断章のグリム〈9〉 下载链接1](#)

书评

[断章のグリム〈9〉 下载链接1](#)